

## 令和2年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

予測困難な時代に一人ひとりが未来の創り手となるために

- 1 生徒の豊かな人間交流を促し、広い視野を持つ、健全な社会人、国際人としての成長を図る。
- 2 地域コミュニティを支える良識ある市民を育てる。

## 2 中期的目標

## ア 基本方針

卒業時に生徒が身に付けていること

- ・自ら考え、行動する力
- ・人を思いやる気持ち
- ・多様な人と協働できる力
- ・基礎、基本を土台とした、思考力、判断力、表現力
- ・挨拶の習慣
- ・読書習慣

## イ 確かな学力の育成

(1) カリキュラム委員会においてカリキュラム・マネジメントを確立し、新学習指導要領などで求められる力を育てる。

ア 各教科等の内容を相互の関係でとらえ、3年間で生徒たちが必要な資質・能力を身につけることができるように総合学科としてのカリキュラムを実施する。また新課程に向け新カリキュラムを検討する。

イ 「何が身についたか」の評価方法を検討する。

(2) 授業改善に取り組む。主体的・対話的で深い学びを通し、思考力・判断力・表現力を高めるようにする。

ア わかりやすい授業を行う。

イ 生徒が考える授業を行う。(思考力、判断力)

ウ 生徒同士、教員とのコミュニケーションを大切にする。(表現力)

エ 基礎的、基本的な知識及び技能を確実に身につけさせる。

オ 話し合い、調べ学習、発表、実験、実習、地域貢献等を通して、考える力・まとめる力・発表する力等を育成する。

そのために

カ 公開授業、研究授業、授業見学、研修、授業アンケートなどを活用した授業改善に組織的に取り組む。

キ 生徒一人ひとりの能力や特性（ニーズ）に応じた個別学習や協同学習を展開し、より意欲的で深い学びを実現するため、授業力アップチームが中心となり、普通教室や各種特別教室における ICT 機器を活用した授業の研究を進める。

ク 生徒自身が自ら学び、授業以外でも学習できるように取り組む。

※授業アンケートにおける「興味関心が持てた」「知識技能が身についた」の第一評価を R4 年度に 50%以上 (H29:31%, 32% H30:35%, 38% R1 :38%, 39%) にする。

※学校教育自己診断（生徒向け）での「教え方に工夫をしている先生が多い」の第一評価を 15%UP させ R4 年度に 38% (H29:24% H30:21% R1 :23%) にする。

備考 評価の基準

第一評価	よくあてはまる
第二評価	ややあてはまる
第三評価	あまりあてはまらない
第四評価	全くあてはまらない

## ウ 生徒の「やる気」スイッチをオンにする

(1) 効力感、達成感の育成

ア 教科や教科横断的な行事などの中で自己表現をしたり、認められたりする場を広げる。

イ 教科学習と学校行事、部活動等の活動との両立を支援するとともに部活動参加率 70%以上をめざす (H29:66% H30:68% R1 :66%)。

ウ 小学校、中学校、大学との連携を深める。また地域ボランティアなどの貢献活動を継続する。

エ 生徒が多様性を認め、お互いを尊重するため、人権尊重の意識や道徳的な態度を育む取組みを充実させる。

(2) キャリア教育の推進、キャリアアンカーの形成

ア 進路部・教務部・学年を中心に教科とも連携を図り、3年間を通じたキャリア教育を充実させる。

イ 日々の学習、フィールドでの発表や研修などを通して、自分の進路や生き方を考えられるようにする。

(3) 進路実現の支援: 4年制大学進学希望者の4年制大学への進学率を 90% (H29:71% H30:80% R1 :69%)以上にする。就職希望者の就職率 100% (H29:100% H30:100% R1 :100%)を維持する。

(4) 資格取得の推進

※学校教育自己診断（生徒向け）で「授業で発表する機会がある」の第一評価を、R4年度までに 50% (H29:31% H30:38% R1 :42%) にする。

「ガイダンスは分かりやすい」の否定的評価（第三、四評価の合計）を、R4年度までに 10%以下 (H29:25% H30:16% R1 :18%) にする

「進路や生き方を考える機会がある」の第一評価を、R4年度において 50%以上を維持 (H29:49% H30:53% R1 :59%) する。

## エ 安全で安心な魅力ある学校づくり

(1) 生徒の規範意識を醸成する

ア 基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成に努める。

イ 生徒が自分で判断して自らの行動を律することができるようにする。

(2) 生徒が安心して学校生活を送ることができるように、個々の生徒への支援体制を強化する。

ア 課題のある生徒について SC と緊密に連携し、生徒情報交換、ケース会議等を実施し、教員、養護教諭等が協力しながら指導方針を明示していく。

(3) 保護者連携・地域連携を一層推進していく。

(4) 働き方改革

※学校教育自己診断（保護者・生徒向け）での「何かあれば相談できる先生がいる」の否定的評価（第三、四評価の合計）を R4 年度までに、生徒向け 10% 以下 (H29:32% H30:27% R1 :29%)、保護者向け 10%以下 (H29:20% H30:21% R1 :21%) にする。

## オ グローバル人材の育成

- (1) 日本語指導の必要な帰国生徒・外国人生徒の指導  
 ア 出身中学、母語指導者等との密接な情報交換を日常的に行い、渡日・外国人生徒の指導を行う。  
 イ 日本人生徒との交流の促進
- (2) 国際交流の推進  
 ア 生徒の短期語学研修の実施（英語圏、中国語圏、韓国語圏）  
 イ 外国の学校との相互交流の実施

※語学研修の回数を年1回行い、参加者10人程度(H29:17人 H30:12人 R1:19人)を維持する。

### 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和2年12月実施分及びこの5年間の比較]	学校運営協議会からの意見																																																																																																																																																																																				
<p>※下の表の数字は生徒回答の第一評価の%</p> <p>生徒たちは本校に来る意義を感じている</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R1</th> <th>H30</th> <th>H29</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校に行くことに意義を感じている</td> <td>49</td> <td>40</td> <td>39</td> <td>31</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>門真なみはや高校に入学してよかったと感じている</td> <td>65</td> <td>54</td> <td>48</td> <td>48</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>この学校は自分にあったフィールドや科目がある</td> <td>61</td> <td>55</td> <td>53</td> <td>50</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table> <p>授業を受ける環境が整ってきている</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R1</th> <th>H30</th> <th>H29</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒が静かに授業を受ける環境がある</td> <td>43</td> <td>29</td> <td>28</td> <td>28</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>教室はきれいで、授業を受ける態勢ができています</td> <td>38</td> <td>31</td> <td>33</td> <td>29</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table> <p>授業における教え方の工夫において改善の余地がある          生徒が自分の考えをまとめ、発表する機会は増えてきている          補習、講習に関しては数年前の方が数値がよい</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R1</th> <th>H30</th> <th>H29</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教え方に工夫をしている先生が多い</td> <td>33</td> <td>23</td> <td>21</td> <td>24</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある</td> <td>43</td> <td>42</td> <td>38</td> <td>31</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>授業の補習や進学講習は十分用意されている</td> <td>39</td> <td>39</td> <td>39</td> <td>45</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table> <p>指導に対する生徒の納得感は増してきている</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R1</th> <th>H30</th> <th>H29</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校の制服・遅刻・頭髪指導は適切だと感じる</td> <td>42</td> <td>37</td> <td>32</td> <td>33</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>学校生活について先生の指導は納得できる</td> <td>37</td> <td>34</td> <td>28</td> <td>25</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>先生は生徒に対して適切な態度や言葉遣いで接している</td> <td>47</td> <td>42</td> <td>39</td> <td>34</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table> <p>生徒会行事に意義を感じる生徒は増えてきている</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R1</th> <th>H30</th> <th>H29</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文化祭、体育祭、球技大会などの生徒会行事は有意義だ</td> <td>72</td> <td>61</td> <td>61</td> <td>53</td> <td>54</td> </tr> </tbody> </table> <p>将来の進路、生き方について十分考える機会が与えられている</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R1</th> <th>H30</th> <th>H29</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>将来の進路や生き方について考える機会がある</td> <td>71</td> <td>59</td> <td>53</td> <td>49</td> <td>51</td> </tr> </tbody> </table> <p>命の大切さや、社会のルールについて学ぶ機会があるといえる</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R1</th> <th>H30</th> <th>H29</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>命の大切さ、社会のルールについて学ぶ機会がある</td> <td>41</td> <td>44</td> <td>41</td> <td>36</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table> <p>この学校では、十分人権に配慮がなされている</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R1</th> <th>H30</th> <th>H29</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>この学校では、十分人権に配慮がなされている</td> <td>59</td> <td>53</td> <td>45</td> <td>44</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table> <p>生徒が教員に対してより相談しやすい環境を作る必要がある          いじめがないと言う生徒が増えてきている</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R1</th> <th>H30</th> <th>H29</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>何かあれば、相談できる先生がいる</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>34</td> <td>32</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>この学校では、教職員が「いじめ」がおこらないように気を配っている</td> <td>32</td> <td>36</td> <td>30</td> <td>33</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>この学校では、生徒間の「いじめ」はみられない</td> <td>69</td> <td>58</td> <td>53</td> <td>61</td> <td>68</td> </tr> </tbody> </table> <p>制度説明が適切になされている</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R1</th> <th>H30</th> <th>H29</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フィールドや選択科目のガイダンス指導はわかりやすい</td> <td>52</td> <td>39</td> <td>41</td> <td>30</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>奨学金制度について、紹介や説明がなされえている</td> <td>48</td> <td>48</td> <td>52</td> <td>49</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table>		R2	R1	H30	H29	H28	学校に行くことに意義を感じている	49	40	39	31	38	門真なみはや高校に入学してよかったと感じている	65	54	48	48	52	この学校は自分にあったフィールドや科目がある	61	55	53	50	48		R2	R1	H30	H29	H28	生徒が静かに授業を受ける環境がある	43	29	28	28	31	教室はきれいで、授業を受ける態勢ができています	38	31	33	29	32		R2	R1	H30	H29	H28	教え方に工夫をしている先生が多い	33	23	21	24	19	授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある	43	42	38	31	30	授業の補習や進学講習は十分用意されている	39	39	39	45	42		R2	R1	H30	H29	H28	学校の制服・遅刻・頭髪指導は適切だと感じる	42	37	32	33	44	学校生活について先生の指導は納得できる	37	34	28	25	29	先生は生徒に対して適切な態度や言葉遣いで接している	47	42	39	34	32		R2	R1	H30	H29	H28	文化祭、体育祭、球技大会などの生徒会行事は有意義だ	72	61	61	53	54		R2	R1	H30	H29	H28	将来の進路や生き方について考える機会がある	71	59	53	49	51		R2	R1	H30	H29	H28	命の大切さ、社会のルールについて学ぶ機会がある	41	44	41	36	36		R2	R1	H30	H29	H28	この学校では、十分人権に配慮がなされている	59	53	45	44	45		R2	R1	H30	H29	H28	何かあれば、相談できる先生がいる	33	33	34	32	29	この学校では、教職員が「いじめ」がおこらないように気を配っている	32	36	30	33	50	この学校では、生徒間の「いじめ」はみられない	69	58	53	61	68		R2	R1	H30	H29	H28	フィールドや選択科目のガイダンス指導はわかりやすい	52	39	41	30	26	奨学金制度について、紹介や説明がなされえている	48	48	52	49	47	<p>第1回 8月19日</p> <p>○R2年度学校経営計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒たちが力をつけるために、色々と工夫されていることが分かった。オンライン授業の対応も検討されているとのことで努力されていると感じた。</li> <li>・中学校も、行事、部活、班活動などいろいろと制約を受けている。高校でもピンチをチャンスに変えられるよう発想を転換してもらいたい。</li> <li>・進学に向けて不安をかかえている生徒たちのことが心配。</li> <li>・コロナ禍で学習保障はもちろん必要だが、心のケアが重要だと感じる。不登校が増えている実態がある。オンライン授業について情報交換しながら進めていただきたい。</li> <li>・3年生の行事に保護者が参加できないことは寂しく感じるが、行事自体がなくなってしまわず実施できることはせめてもの救いだと感じる。</li> </ul> <p>第2回 10月21日</p> <p>○授業見学感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒たちが自分で選んだフィールドだけあって、ポジティブに授業に取り組んでいた。</li> <li>・1年次のリベラルアーツ(教養)の部分が土台になって、2、3年生では専門的な取り組みがなされているのだろう。</li> <li>・もっと生徒のアウトプットを引き出すようなやり方を工夫できるのではないかな。</li> <li>・毎年毎年、授業内容が洗練されていると感じる。</li> <li>・生徒が助けを求めるとハードルが低いと感じた。教員と生徒の関係ができてきているということだろう。</li> </ul> <p>第3回 1月20日</p> <p>○全体的に見た意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で大変な中、授業アンケート結果が上昇するなど頑張っておられると感じた。</li> <li>・進路、キャリア教育に関する項目のポイントが急上昇している。生徒は学校に魅力を感じているのだろう。</li> <li>・PTA活動が思うように進められず残念だったが、学校が生徒のために力を入れてくれていることが伝わった。</li> <li>・「なみはやに来てよかった」などの数値が上がっている。中学校では、生徒減に伴う教員減もあり部活動を維持していくことが困難になっているところもある。</li> <li>・異例な一年のなかでも自己診断や授業アンケートが毎年いい評価になっている。先生が生徒を支えていこうという意欲が表れていると感じる。引き続き頑張ってください。</li> <li>・授業アンケートでは、「必要なときには予習や復習を行っている」項目が伸びていくことが重要。これが課題。</li> </ul> <p>○令和2年度学校評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校長からの説明の後、学校教育自己診断の結果と分析に関する意見が出され(上記)、審議後承認された。</li> </ul> <p>○令和3年度学校経営計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校長からの説明の後、審議され承認された。</li> </ul>
	R2	R1	H30	H29	H28																																																																																																																																																																																
学校に行くことに意義を感じている	49	40	39	31	38																																																																																																																																																																																
門真なみはや高校に入学してよかったと感じている	65	54	48	48	52																																																																																																																																																																																
この学校は自分にあったフィールドや科目がある	61	55	53	50	48																																																																																																																																																																																
	R2	R1	H30	H29	H28																																																																																																																																																																																
生徒が静かに授業を受ける環境がある	43	29	28	28	31																																																																																																																																																																																
教室はきれいで、授業を受ける態勢ができています	38	31	33	29	32																																																																																																																																																																																
	R2	R1	H30	H29	H28																																																																																																																																																																																
教え方に工夫をしている先生が多い	33	23	21	24	19																																																																																																																																																																																
授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある	43	42	38	31	30																																																																																																																																																																																
授業の補習や進学講習は十分用意されている	39	39	39	45	42																																																																																																																																																																																
	R2	R1	H30	H29	H28																																																																																																																																																																																
学校の制服・遅刻・頭髪指導は適切だと感じる	42	37	32	33	44																																																																																																																																																																																
学校生活について先生の指導は納得できる	37	34	28	25	29																																																																																																																																																																																
先生は生徒に対して適切な態度や言葉遣いで接している	47	42	39	34	32																																																																																																																																																																																
	R2	R1	H30	H29	H28																																																																																																																																																																																
文化祭、体育祭、球技大会などの生徒会行事は有意義だ	72	61	61	53	54																																																																																																																																																																																
	R2	R1	H30	H29	H28																																																																																																																																																																																
将来の進路や生き方について考える機会がある	71	59	53	49	51																																																																																																																																																																																
	R2	R1	H30	H29	H28																																																																																																																																																																																
命の大切さ、社会のルールについて学ぶ機会がある	41	44	41	36	36																																																																																																																																																																																
	R2	R1	H30	H29	H28																																																																																																																																																																																
この学校では、十分人権に配慮がなされている	59	53	45	44	45																																																																																																																																																																																
	R2	R1	H30	H29	H28																																																																																																																																																																																
何かあれば、相談できる先生がいる	33	33	34	32	29																																																																																																																																																																																
この学校では、教職員が「いじめ」がおこらないように気を配っている	32	36	30	33	50																																																																																																																																																																																
この学校では、生徒間の「いじめ」はみられない	69	58	53	61	68																																																																																																																																																																																
	R2	R1	H30	H29	H28																																																																																																																																																																																
フィールドや選択科目のガイダンス指導はわかりやすい	52	39	41	30	26																																																																																																																																																																																
奨学金制度について、紹介や説明がなされえている	48	48	52	49	47																																																																																																																																																																																

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
イ 確かな学力の育成	(1) 新カリキュラムの検討	ア カリキュラム委員会で次期指導要領の内容の研究、新カリキュラムの検討をする。	ア・カリキュラム委員会 実施回数 15 回 (R1, 16 回) ・職員研修 1 回以上 (R1, 1 回)	ア・カリキュラム委員会の活動 委員会実施回数 15 回 委員会主催の職員研修を 2 回実施、内容は授業での ICT の活用法。それに加え職員会議冒頭の 10 分を活用した授業実践例の紹介を 6 回実施した。このミニ研修は次年度も継続実施する。(○)
	(2) 各教科を中心とした授業改善	ア・わかりやすい授業を行う。 ・生徒が考える授業を行う。 ・生徒同士、教員とのコミュニケーションを大切にする授業を行う。 ・基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる。	ア 授業アンケート「知識や技能が身に付いた」の第一評価を 42%以上 (R1, 38%) にする  ア 生徒自己診断「教え方を工夫している先生が多い」の第一評価を 28% (R1, 23%) に、「授業で発表する機会がある」の第一評価を 45% (R1, 42%) にする	ア 授業アンケート「知識や技能が身に付いた」の第一評価は 47% (R1, 38%) (◎)  ア 生徒自己診断「教え方を工夫している先生が多い」の第一評価は 33% (R1, 23%)、「授業で発表する機会がある」の第一評価は 43% (R1, 42%) (○)
ウ 生徒のやる気スイッチをオンにする	(3) 主体的、対話的で深い学びをめざす	ア・ICT などの活用 ・生徒自身の発表の機会を設ける等授業形態の工夫をする  イ 教員相互の授業見学と研修 ・教育実習期間に合わせた教職経験年数が浅い教員による授業見学及び研修の実施  ウ 自主的な学習の推進 ① 授業以外の学習時間を前年比 10%以上の増加を図る。  ② 読書習慣を身につける	イ 教員自己診断「指導方法の改善・工夫が行われている」の第一評価を 22% (R1, 17%) にする  ウ ① 学習時間目標 (平日) 1 年生 30 分 (R1 28 分) 2 年生 30 分 (R1 26 分) ② 新一年生の朝の読書活動維持	イ 教員自己診断「指導方法の改善・工夫が行われている」の第一評価は 21% (R1, 17%) (○)  ウ ①学習時間目標 (平日) 1 年生 44 分 (R1 28 分) 2 年生 25 分 (R1 26 分) 1 年生は目標を大幅に超えたものの、2 年生は昨年度を少し下回っている。2 年早期に受験勉強のスタートを切らせることが次年度の課題である。(△)  ②新一年生の朝の読書活動は 1 年間継続して実施できた。一時間目の授業がスムーズに入れると言った肯定的な意見がある。しかしながら、クラスによって取り組み状況にばらつきがある。5 分間の時間の短さ、教室移動の多さが予想以上の障害になっているようだ。次年度への継続また形態の変更等については新一学年と相談の上決定する。(○)
	(1) 効力感、達成感の育成	ア 部活動参加率を上げる。部活動の説明会などを充実させ、全学年の生徒の部活動の加入率を高める。 イ 地域連携 地域の小中学校への出前授業や、他の機関と連携して地域に根差した学校とする。	ア 部活動加入率を 70%以上 (R1、66%) にする  イ 市内小中学校や地域諸機関との連携の継続	ア 部活動加入率 74% (R1、66%) 次年度も 70%以上の加入率を維持したい。(○)  イ・コロナ禍の中、市内小中学校との連携はできなかったが、外出できない地域のお年寄り福祉フィールドの生徒が手紙で文通をし、それがオンラインの交流へと発展し、メディアに取り上げられた。 ・保育の授業で、近隣の保育園とオンライン交流を実施した。次年度も形態を模索しつつ連携を継続する。(○)
	(2) キャリア教育の推進	ア 「産業社会と人間」から始まる 3 年間のキャリアプランの作成・2、3 年生のキャリア教育の充実  イ 生徒が選択を通じて自己実現を図るガイダンス機能を充実する。	ア 自己診断「進路や生き方を考える機会がある」の第一評価 50%以上を維持 (R1、59%)  イ 自己診断「ガイダンスはわかりやすい」の否定的評価 (第三、四評価の合計) を 15%以下にする (R1、18%)	ア 自己診断「進路や生き方を考える機会がある」の第一評価は 71% (R1、59%) (◎)  イ 自己診断「ガイダンスはわかりやすい」の否定的評価 (第三、四評価の合計) は 9% (R1、18%) (◎)
	(3) 進路実現の支援	ア 多様な学びの中で形成した個々の力を最大限に発揮できるよう、生徒が最後まで努力することを支援し、希望進路の実現を図る。	ア 3 学年当初の 4 年制大学進学希望者の 4 年制大学への進学率を 90%以上にする (R1, 1 月現在 55%) 就職内定率 100%を維持する (R1, 1 月現在 100%)	ア 3 学年当初の 4 年制大学進学希望者の 4 年制大学への進学率は 84% 就職内定率は 100%を維持した。(○)

## 府立門真なみはや高等学校

	(4) 資格取得の推進	ア 生徒が資格取得の意義を理解できるように生徒に積極的な働きかけを行う。	ア 受験者数の増加 ・ 漢字検定受験者数 80 名 (R1 68 名) ・ 英語検定準 2 級以上 (CEFR A2 以上) の生徒数 100 名 (R1 89 名) ・ 選択したフィールドに関する資格試験の受験率 (パソコン検定など 80%以上維持) (R1, 100%)	ア 受験者数の増加 ・ 漢字検定受験者数 48 名 (R1 68 名) ・ 英語検定準 2 級以上 (CEFR A2 以上) の生徒数 33 名 (R1 89 名) ・ 選択したフィールドに関する資格試験の受験率 100% (R1, 100%) 次年度はより一層受検への呼びかけを強める必要がある。(△)
エ 安全で安心な魅力ある学校づくり	(1) 生徒の規範意識の醸成	ア 規範意識を持たせる。生徒が指導の目的を理解した上での指導の実践 イ 情報リテラシーの育成。特に SNS の利用について、リテラシーを高める。	ア・自己診断「制服・遅刻・頭髪指導は適切である。」第一評価を 41% (R1, 37%) にする ・自己診断「先生の指導は納得できる」第一評価を 38% (R1, 34%) にする イ 生徒向け研修の継続	ア・自己診断「制服・遅刻・頭髪指導は適切である。」第一評価は 42% (R1, 37%) (○) ・自己診断「先生の指導は納得できる」第一評価は 37% (R1, 34%) (△) イ 生徒向け研修は実施済み。SNS に関するトラブル、いじめ等は起こっていない。(○)
	(2) 課題のある(困り感のある)生徒の支援	ア 軽微なことでも生徒についての情報を共有する情報交換会を継続実施 イ 生徒相談室を充実させるなど相談体制の充実を図る	ア 支援・教育相談委員会を月 1 回程度開催 イ 自己診断(保護者・生徒向け)「何かあれば相談できる先生がいる」の否定的評価(第三、四評価の合計)を、生徒向け 22%以下 (R1 年度 29%) 保護者向け 17%以下 (R1 年度 21%) にする	ア 支援・教育相談委員会は 5 回実施、生徒の登校が 6 月からであった影響もあるが、月 1 回のペースではできていない。次年度は職員会議の後などの隙間の時間の活用をより一層考える必要がある。(△) イ 自己診断(保護者・生徒向け)「何かあれば相談できる先生がいる」の否定的評価は、生徒向け 29% (R1 年度 29%) 保護者向け 19% (R1 年度 21%) (△) 生徒向け「保健だより」等で相談窓口の周知に努めているが、教職員からの一層の声掛けが必要なのかもしれない。
	(3) 保護者連携・地域連携の一層の推進	ア 保護者連携の推進のため、メールの一斉配信など確実な連絡を行う。 イ 災害等非常時に備え、全生徒にメール配信システムを登録させる。	ア 保護者メール配信システムの維持。またそれにより、教員の保護者連絡の負担を一部軽減する。 イ 生徒全員の登録	ア コロナ禍の中、メール配信システムが大いに活躍した。教員からの保護者連絡の負担がかなり軽減された。(○) イ 生徒全員の登録はほぼ完了。学校支援クラウドサービスも活用している (○)
	(4) 働き方改革	ア 会議でのペーパーレス化を進める。	ア 実践があるかどうか	ア 各学年の授業担当者会議の際、当該生徒の成績、顔写真をモニターに映し出し会議を進めた。(○)
オ グローバル人材の育成	(1) 日本語指導の必要な帰国生徒外国人生徒の指導	ア 合格時からの指導の充実	ア 高校生活が円滑にスタートできるよう合格決定後から早期の支援を継続実施する	ア コロナ禍の中、個別登校指導で早期の支援を実施した。(○)
	(2) 国際交流の推進	ア 生徒の短期語学研修の充実 イ 外国の学校との相互交流の実施	ア 短期語学研修参加者 10 名程度維持する (R1, 19 人) イ 1 校以上 (R1, 3 校) の交流を受け入れる	ア 短期語学研修はコロナの影響で中止 (一) イ 中国と韓国のそれぞれの相手校とオンラインによる交流会を開催した。(○)